

たたら製鉄(10月27日)



教育大学の境先生とゼミの学生が来校して、6年生を対象に「たたら製鉄」の出前授業を行いました。毎年、6年生がとても楽しみにしているこの学習。境先生や大学生の皆さんの入念な準備のおかげで、とてもわくわくした学びの多い時間となっています。

まずは、製鉄やたたらの歴史について学び、その後は、大学生の皆さんの指示やアドバイスを受けながら炭を切ったり炉に風を送ったり、チームワークよく作業を進めていました。

最終的には、10kgの砂鉄から2.5kgの鉄ができたそうです。炉から砂鉄が溶けたものがどろっと出てきたときや、熱い塊を水で冷やす様子に、子供たちは大歓声を上げていました。

未来の先生を目指す高校生の実習(10月27・30日)



北海道教育大学と北海道教育委員会が行っている「みらいの教員養成プログラム」の一貫として、江南高等学校から15名の高校2年生が実習にやってきました。

2～4年生の学級に配属された生徒たちが、授業を参観したり、子供たちの学習支援をしたり、休み時間や給食、清掃時間を子供たちと共に過ごし、安全指導等を行いました。また、2日目には、配属学級でレクリエーションの企画・進行に取り組みました。

本校の子供たちの明るさや積極的な学習態度に、生徒たちの緊張もすぐに解けた様子で、全力で自分たちと関わってくれる生徒の皆さんを、子供たちもあっという間に好きになったようです。

生徒たちだけで進行するレクリエーションの際は、生徒たちのお話をしっかり聞いたり、盛り上げたり、元気に返答したり、一緒に楽しい時間を過ごそうとする子供たちの姿が感動的でした。みらいの先生、期待しています！